



特集 変わらぬ中津川・古きよき中津川へ再発見

「ところで、これぞ中津川」というか、中津川の一番アピールしたいところは何かか。

そうですね。古の面影を遺す宿場町の趣き、馬籠宿、落合宿はもちろん、市内の至る所に宿場町のたたずまいを遺し、それが観光地という点だけでなく、生活の中古といつた点が魅力の一つかもしれません。また、付知峡や夕森公園や百名山である恵那山などの自然を満喫できる

街を創り出すのは、やっぱり人の力

ここ数日急に冷えてきて、恵那山も真っ白になり、ああ冬の到来だなと思っていたが、今日は晴れて穏やかな日であった。本陣跡や中山道資料館、そして、昔からの駄菓子屋「白川茶」宿場の趣を感じさせる本町通りを西に歩いて行く。本町通りの終わりにholidaypark Roastworksというカフェがある。今日、令和元年も師走、四日にコーヒーマスターの体験ワークショップがある



講師の原さん (51回生)

講義の原さん (51回生) 僕が行きたいと思うカフェがなく、それを作りたいからです。家族で東京から移住するのに、何が必要かと考えたときに、特に欲しいものが四つ

市内には観光協会のほか、地域のPR団体など複数の組織が、観光誘客に寄与する活動を行っています。そうした多くの協会や団体の活動が単体の活動ではなく、相乗効果が図られるような推進体制になるよう、行政としても考えていきたいと思

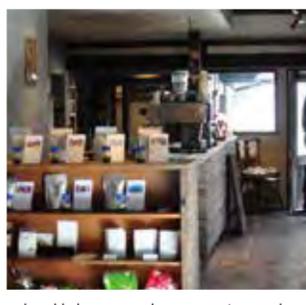
いろいろな人と出会い、いろいろな経験ができて、それが財産になっている。どうして、中津川に移住してカフェを始めようと思ったのか、コーヒーマスターを伝えたいとか、スタバでバイトしてバリスタに憧

観光課の職員として、考えてみると、今までは〇〇人観光客が増えた、減少したというところに一喜一憂していたという



中津川グルメで観光振興

「中津川に戻るよ」と話したら、「中津川なんて何にもないじゃん」と言われたことがあって、そういうネガティブな印象に引



holidaypark roastworks

出したわけですが、やっぱり、いっつかよかつたなと思うことがあって、一つは一緒にやるパートナーがいたことです。僕の場合はそれがたまたま妻であったわけですが、一緒に暮らす人がビジネスパートナーであるというの

「人の温かさが中津川の良いところではないでしょうか？」 僕たち夫婦としては、東京ではずっと暮らしていけないなと思

この柱も他の古民家の柱で配慮できます。このお店を気に入ってもらった方に、古い物を使うことが「かっこいい」ということを知ってもらえます。そういう色々なことが、これまでの人生の中でいろいろな人となら、いろいろな人と経験して

中津高校や高校生に望むことは何ですか。 僕らが高校生だった頃とは違って、高校生が社会参画をしていく時代だと思えます。ボランティア活動や街作りなどに

中津川も、新しい時代を迎え大きく変わろうとしている。たしかにリアン開通という国家規模の大事業の影響は計り知れないだろう。しかし、そうした巨大プロジェクトのつかり、企業工場の誘致、大型商業施設の誘致にたよる外部からの力ではなく、内側からの胎動によって変わろうとしている気がする。それはまだ胎動に過ぎないのかもしれない。しかし、確実に変化の兆しは見える。先日、商店街の六斎市に足を運んだ。地元商店街や団体の出店で活気ある六斎市となり、多くの人で賑わっていた。これも胎動の一つなのである。そして、その流れは大きなうねりとなってくれているだろう。若者や高校生が地元を愛して、町全体を盛り上げようと頑張ってくれている姿を目にするたびに、そう実感するのである。

取材：松本詠史(30回生)

感動！「ONETEAM」ラグビーワールドカップ



中津高等学校同窓会会長 水野 賢(25回生)

旭陵新聞第二十号の発行にあたり一言「あいさつ」を申し上げます。会員の皆様におかれましては益々ご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。平素は、中津高校発展のために様々な角度から格別なるご理解とご協力を賜り、紙面をお借りしまして心から厚くお礼申し上げます。

今回の旭陵新聞につきましては、新聞委員会の皆様をはじめ多くの皆様のご協力により、無事発行することができました。ここに改めて感謝を申し上げます。令和元年度の同窓会総会でも議論していただきましたが、財源面で非常に厳しい状況になっております。一回の発行には二八〇万円程の経費がかかり、会員の皆様か

伝統と魅力あふれる中津高校



中津高等学校長 森井 静子

創立百十四年の歴史を持つ伝統校であり、地元の皆様から長く愛され親しまれている中津高等学校に、今年度四月に着任いたしました。同窓会の皆様には日頃より温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本校で学ぶ生徒たちは素直で人柄がよく、素晴らしい学習環境の中、日々学習に部活動に地域活動にと意欲的に取り組んでいます。また、校内のいたるところに同窓生の芸術作品が飾られており、今年七月には18回生の鈴木幸子様より同窓会を通じて新たに百五〇号の作品を掛け

〜人間性豊かなたくましい生徒の育成〜

十四期生二名の生徒が一年間の学びと成長及び新たな目標を伝えてくれました。全員が留学によって自分を知り自国を知るとともに、他者や異文化を理解し視野を広げ、次のステップに向かい、新たな活動を展開してくれています。同窓会の皆様により本事業が今後も継続され、多くの生徒が貴重な海外留学を経験し、将来の夢や希望が叶えられますようご支援をお願い申し上げます。

よって背番号が決まっているのですが)に並びます。このスクラムを真上から見た時、選手同士の体がピタッと密着し、整然と並び、一つの塊となって一定の方向へと力を押し出し、この出来の如何が強さのパロメーターとなります。選手同士の体を密着させるために、選手は隣の選手のジャージをしつかりと掴み、そして掴んだ手のひらを反すようにして、それぞれが自分の方に隣の選手を引き寄せます。この動作をバインディングと言いますが、これがスクラムの基本となります。これが出れば選手同士の体がピタッと密着し、整然と並び、一つの塊となつて一定の方向へと力を押し出していくことの出来る強いスクラムと言えます。組織論で言えばお互いがしつかりとバインディングを組む組織は、組織としての力を十分発揮することが出来る、と

中津高校定時制同窓会の近況



定時制同窓会会長 西尾 晃司(定22回生)

同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。二〇一九年は、「平成」が終わり令和の時代の幕開けとなりました。平成は、平和な時代を過ごすことができたが、経済成長力の鈍化や人口減少社会など多くの課題を抱えながら、新しい時代「令和」のスタートとなりました。引き続き、平和で幸せを実感できる時代を願いたいと思

本校生徒は何事にも素直で前向きに取り組んでおり、授業はもちろん、校内外の様々な活動において本心に良い表情が見られます。そして夢に向かって努力し進路実現をしていく生徒たちを、職員も精一杯支援しています。同窓会や地域の皆様からのご支援も、生徒たちの成長を大きく後押ししてくれています。生徒たちには、ぜひこれからの社会を担う学力に加え、様々な場面でも多くの人と関わり、自己を大切にしたいという心を持つ、人間性豊かな生徒になってほしいと願っています。今後も、校訓「自由と個人の尊厳・思索と自己の完成」のもと、自主性や積極性を育む指導を継続し、地域の進学校として、「地域で活躍する生徒」「世界に羽ばたく生徒」を全職員で育てていきたいと考えています。同窓生の皆様には、母校の発展のため変わらぬご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。特に芸術鑑賞は、この二年間市内の楽団の音楽会

卒業生 現職員 文庫紹介

- 「山桜花」 葛城護美著(宮内明男9回生)著/鳴海出版
「はるのしほのね」 葛城護美著(宮内明男9回生)著/鳴海出版
「三月の風」 青春レイクエム
「三月の風2」 青春レイクエム
「あきとれ」 校長センセイの徒然日記
葛城護美著(宮内明男9回生)著/文芸社
「アルカディアの碧空」 歌集
(彩雲叢書第一編)
田中伸治19回生 著/露滴房
「月の泉」 糟谷磯丸歌集
糟谷磯丸著(田中伸治19回生)編/露滴房
「時空万華鏡」 田中伸治画集
田中伸治19回生 画/露滴房
「彩雲台百冊(44号)52号」
(2017年春)2019年秋)
田中伸治19回生 著/短歌彩雲の会
「滝川英明作品集」
滝川英明20回生画/滝川英明作品集
編集委員会アトリエタキ編
「日本漢詩の声」
齊藤正幸32回生 著/新潮社図書編集室
出版情報をお寄せください

創設された旭陵留學制度は十五年目を迎え、この八月には十五期生四九人目の二名が留學に旅立ちました。百周年事業準備当時、私も旭陵留學制度の創設という決断に驚き、そして感激したことを覚えております。同窓生の皆様の母校の熱い思いによって、今後のグローバル社会を担う生徒の育成の機会を与えていただき、深く感謝申し上げます。五月の総会では旭陵留學生二名が大学等での現在の活動状況を、七月の帰国報告会では

識をもつて、同窓会活動にご支援をいただきたい旨のご発言がありました。そのお言葉を借りて恐縮ですが、中津高校同窓会会員の皆様は、しつかりとバインディングを組む「ONETEAM」となつて、在校生へのご支援、また同窓会活動へのご支援を重ねてお願いするところであります。結びに、二〇二七年のリニア中央新幹線開通まで、残すところあと七年になりました。アクセス道路(南北の濃横横断自動車道、東西の東濃東部都市間連絡道路の工事)も始まり、駅本体を含めて駅周辺空間のデザイン検討や土地利用や各種施設の設計などの検討も始まりま

来賓にお迎えし「中津高校定時制創立七十周年記念式典」を開催いたしました。平成十年十月の五十周年記念式典は、当時の和田金夫実行委員長、定時制在校生の熱い思いを手に託し、夢が実現 俳優田中邦衛さんをお迎えしての記念講演と記念誌の発行を行いました。また、平成二十年四月の六十周年記念式典は、念願であった新校舎給食室の給食設備一式を記念品として贈呈していただきました。在校生を想う先輩諸氏の意思を引き継ぎ、継続して応援することを基本に学校と相談した結果、毎年一月に実施される恒例の「餅つき大会」の備品である「臼と杵」を四セット記念品として贈呈致しました。この餅つき大会は、四年生の卒業前祝いと全員進級激励を兼ねる行事であり、餅のように粘り強く学業に取り組んでいただき、末長く活用していただきたいと思います。二番目に、去る令和元年十一月十六日、二十年間継続してき

# 中津高校の一年

中津高校教頭 吉田 浩之

中津高校同窓会の皆様、日頃は様々な機会を通じて本校の教育活動をご支援くださり、誠にありがとうございます。

現在本校は、創立一二〇周年に向けてさらなる発展をすべく、ふるさと教育をはじめ新しい教育活動をスタートさせているところであります。

紙面をいただきましたので、令和元年度の中津高校の行事や取り組みにおける生徒の姿を中心に伝えたいと思います。

## 中津高校のこの一年

### 【四月】

#### 令和元年度入学式と始業式

森井校長が、男子九五名女子九八名の新生徒に対して「新しい一歩をスタートさせる意義を、常に思い出しながら自分の人生目標を作り出す高専生活を送ってほしい」と祝辞を送られました。続いて行われた新生徒歓迎会では、各部活動が新入部員を獲得する

## 定時制の生徒の活動

### 【部活動】

中津高校定時制バドミントン部は現在男女合わせて五名の部員が所属しています。基本的には授業の終わった二〇時四十分から二時四十分の二時間程度練習しています。昼間仕事をしていたり、帰宅時間の制約もあり、なかなか全員そろって練習することはできませんが、それぞれ自分のペース

### 【六月】

#### 旭陵祭

文化祭を六月二二日・二三日に体育祭を二四日に行いました。今年度の文化祭は、地域の歴史や文化の要素を取り入れた、演劇・演説・展示への取り組みが目立ちました。文化系部活動も、入場者の誘導に工夫を凝らして、日頃の取り組み成果を発表しました。体育祭では、三軍団が応援団を中心に団結し、勝利を目指して練習を積み重ね、成果を披露しました。三軍団として、素晴らしいパフォーマンスでした。



馬籠観光ボランティア

五月十五日に、学年別に遠足を実施しました。一年次生は仲間作りを目的として、野外国博物館リトルワールドに行きました。パーベキューやグループ学習によって親交を深めました。民族衣装を着て写真を撮って楽しむなど、様々な中学校から集まったクラスメイトとの距離が縮まり、チーム中津の意識付けを構築することが出来たスタートとなりました。二年次生は、沖繩研修旅行における平和研修と文化体験を充実させることを目的として、長野県松代大本営跡と善光寺で事前研修を行いました。涙を流してガイドの話に耳を傾ける生徒もいました。

#### 馬籠観光ボランティア

五月目を迎えた英語ボランティアガイドは、六月から十月までの間に四回実施し、延べ二〇〇名が参加し、コミュニケーション能力を競い合いました。八月からは、ニュージーンズの留学生も加わり、衣装や案内の内容や提示方法にも工夫を凝らして取り組みました。相手とした外国人の反応が大変良かったと市役所から評価され、数回新聞掲載されるなど、高評価が頂けました。この活動は、落合宿本陣でも展開しており、熱意のある生徒を中心に、チーム中津として、学校全体で地域文化の発信に力を

### 【八月】

#### 中学生体験入学とウエイトリフティング部

八月二日・三日に、中津高校で学ぶことの面白さと、学問探究の奥深さを理解し興味関心を高めるため、「中学生体験入学」を実施しました。本校教員による模擬授業や生徒会の生徒によるユーモアたっぷりな学校解説を、五・四人の中学生とその保護者百名が受けました。参加中学生の百九十五名が、「中津高校を受検したい」とアンケート回答するなど、教育内容の評価による人気の高さが伺えたと自負しています。

#### インターハイへ

八月二日・三日に、中津高校で学ぶことの面白さと、学問探究の奥深さを理解し興味関心を高めるため、「中学生体験入学」を実施しました。本校教員による模擬授業や生徒会の生徒によるユーモアたっぷりな学校解説を、五・四人の中学生とその保護者百名が受けました。参加中学生の百九十五名が、「中津高校を受検したい」とアンケート回答するなど、教育内容の評価による人気の高さが伺えたと自負しています。

#### ギター・マンドリン部全国へ

七月二四日・二五日に、大阪府泉佐野市文化会館で行われた「第四九回全国高等学校ギター・マンドリンフェスティバル」に、ギター・マンドリン部が三年連続で出場しました。ギター・マンドリン部は、八月に長野県で開催された全国総合文化祭にも、岐阜県代表として参加するなど、全国レベルの活躍が続いています。敬老会のホームコンサートや校内のライブパフォーマンスなど、日頃の地道な校内外の練習成果が発揮された結果であると考えています。同窓会の方々も一度演奏を聴いて頂けると、その真の実力の高さが理解できると考えます。

#### 秋の高校体験と教室のICT化

中学三年生の多くが志望校を決定するこの時期に、中津高校の長所を再度アピールし、高校で学ぶことの意義を伝えるため、秋の高校体験入学を実施しました。今年度は十月九日から五十日間十回実施しました。参加者は、昨年度比二倍の中学生七〇名とその保護者二〇名でした。この行事のために二五名の生徒が自主的にボランティアとして参加しま

#### 文化祭「旭星祭」

定時制では九月の終わりに二日間かけて学校祭を行っています。一日目の文化祭の部では、クラスごとに夏休み明けから約一か月かけて準備した成果を発表します。今年度は、一年次は「展示「ポップアップアート」」、二年次は「展示「中津川太鼓」」、三年次は「展示「三A切り絵写真真館」」、四年次は「展示「感想用紙投函箱」作ってみました」に取り組み、職員も二年次とともに「中津川太鼓」に挑戦しました。当



バドミントン大会

した。このような行動を積極的に出来る生徒が多数いることが、中津高校の誇りであると感じた企画でした。

一方ICT教育推進のため、各ホームルーム教室の黒板がホワイトボードになり、プロジェクターが設置され、電子ペンによるICT教育がスタートしました。高校の授業手法も新時代になりました。中津高校は、年間を通して午後からの授業を中心に学校開放しております。時間がございましたら、是非、この新時代の授業の様子をご覧になり来校ください。お待ちいたしております。

本年度は、勢力が強い台風が数多く発生した年でしたが、十月二日から五日の三泊四日の研修旅行は、全日程奇跡のような好天が続き、快適な四日間を過ごすことが出来ました。

研修第一日目の平和研修の「ひめゆりの塔記念資料館」沖繩県平和祈念資料館では、展示物・説明の一つ一つに足を止め、真剣に熟考する中津高生の姿が印象的でした。地元ガイドによる「平和講話」や戦争体験者による「平和講話」では、前向きで深い質問が多数出るなど、中津高生の平和に対する姿勢や行動が、地元の方に高く評価される研修となりました。

尚、この期間中は、一年次生が進路学習の一環として企業学習による秋季研修を、三年次生が受験に向けてクラスの結束を高めるための球技大会を

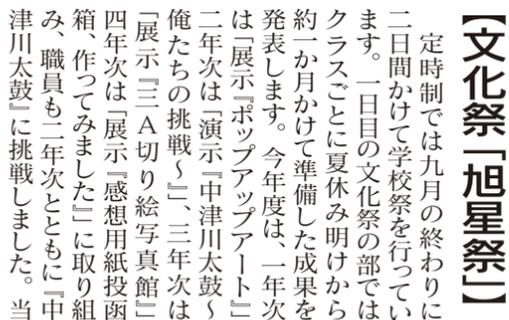
行いました。

十一月一日から十五日まで、ふるさと教育週間企画として講演会と授業参観を実施しました。本校は、一年中全てを授業公開日としています。その影響もあつてか本年は参加者が分散し、授業参観者が五〇名、講演会参加者は十六名の来校人数でした。十一月二日七限目に「ひびきあいの日」として、片桐妙子氏による「若者向けDV等予防啓発事業」講演を行い、DVに至る経緯や真の男女関係について理解を深めました。「ひびきあいの日」は、人権尊重の啓発を目的として設定しています。本校では、人間の多様さを知り認め合うことで、自己と他者の違いや良さを発見し、互いに包括的につながるための重要な取り組みとして、毎年実施しているもので、本年も深い取り組みが出来るように取り組んでいます。

今後とも、母校中津高校に對しまして、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【文化祭「旭星祭」】

定時制では九月の終わりに二日間かけて学校祭を行っています。一日目の文化祭の部では、クラスごとに夏休み明けから約一か月かけて準備した成果を発表します。今年度は、一年次は「展示「ポップアップアート」」、二年次は「展示「中津川太鼓」」、三年次は「展示「三A切り絵写真真館」」、四年次は「展示「感想用紙投函箱」作ってみました」に取り組み、職員も二年次とともに「中津川太鼓」に挑戦しました。当



文化祭「旭星祭」

期間を費やして、自分の実現したい進路を探究し発表しました。どの発表も将来の活躍が期待できる素晴らしい発表でした。この企画は、探究の深度と伝える技術が評価の対象となるため、各生徒ともコミュニケーション能力を育成する良い機会となりました。尚、一年次生は学校評議員の皆様方に、二年次生はふるさと未来連携協議会員の皆様方に、ご覧いただきました。

【三月】

旭陵トキワ奨学金の授与式、第二回旭陵トキワ奨学金の授与式が、本校校長室で行われました。昨年度から始まった本校独自の給付型奨学金である旭陵トキワ奨学金は、株式会社トキワが同窓会に提供した寄付金を原資として行っているものです。給付された卒業生の活躍を期待したいと思います。

本年度も、生徒の夢を叶えるため、多種多様な企画・体験を通して基礎的な人間力を育んできました。この日々の教育の積み重ねが、地域を支える人材育成に貢献し、中津川市・東濃地域の活性化に繋がると我々中津高校職員一同は考えています。今後も、この志を大切にして中津高校の教育活動に真摯に取り組んでいきたいと考えています。

今後とも、母校中津高校に對しまして、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【二月】

【二月】

【二月】

【二月】

【二月】

【二月】

【二月】

【二月】

【二月】



文化祭「旭星祭」



# 旭陵会だより

## あの先輩！この後輩！

### 母校に作品寄贈

鈴木幸子さん(18回生)

《中津高校へ大作の寄贈を頂きありがとうございます。寄贈作品について聞かせてください。》

この度は中津高校に作品を寄贈させて頂く事となり、本当に嬉しく心よりのお礼を申し上げます。母校の森井静子校長先生が女性であることを知り、女性の気持ちを描いてきた私は、不思議な縁を頂いた喜びでいっぱいになりました。さらに中津高等学校として創立された中津高校には、私の作品の中で「花」が、良いと思いい、第八〇回新制作展出品作品の油絵・題名「花」(F150)号を寄贈作品にさせて頂きました。

《中津高校在学中の思い出について聞かせてください。》

高校時代の思い出は帰宅部で、楽しみは友達数人と放課後のお喋りくらいでした。生物の北条先生、化学の糸川先生、数学の磯部先生には勉強の面白さを教わり感謝しております。三年生の冬休みに、突然父親の希望で、岐阜大学教育学部美術工芸学科を記念受験する事になり、初めての石膏デッサンを、美術の松原先生のご指導の下、故・滝川英明氏(20回生)にも教えて頂きました。

《作品の題材についてお聞かせ下さい》

恩師より古いものを描いてみたと言われ、実家の筆筒の中に子供の頃の着物を見つけ描いた



## 「おしゃべりな目を改良するために「安江貝」安江直臣氏(14回生)

《絵を描くきっかけは?》

おもいがけず合格してしまつた。岐阜大学入学後初めて油絵

僕には、多分現代だと、ADHDなどという立派な名前が付いた発達障害があったと思われ、だから、型にハマられ自由でない学生時代は、辛くてなかつたと思

《絵を描くきっかけは?》

おもいがけず合格してしまつた。岐阜大学入学後初めて油絵

HDに関係あるのか、キョロキョロとよく動く目を持って、気楽にチャンスを手に入れようとしたこと……

多分?カナダの西海岸の「オーガニック」緑の党の牙城といわれるソルト・スプリング島という、人口二〇〇〇人の島に流れ着きました。

家では、出来るだけ人間が手を出さないで自然のままに動物も殆ど放し飼いで、餌も殆ど与えずに野性の物を食べてます。果物なども、農薬、肥料などあげないのみならず、剪定も殆どしません。勿論総生産量は少ないかもしれませんが、肉も卵も果物も十分食べられるのはあります。今年は、温暖化の為に外で柿なども実り、珍しい為か、自然食品の店が高額で売って

来年は七年に一度、毛虫が大発生する予定の年で、収穫は少ないですが、島の人は「果樹」としては、根を休める良い「チャーン」だと言います。我々は、収穫物を干したり、ワインを作る

作業が少なくなつて、大いに遊ぶことが出来る楽しさにさえずっています。

多分、カナダという国自体が、貧乏人に優しい国であり、高校までは教育費はいらぬし、健康保険も要りません。多分日本では貧乏を怖いものなのに、洗濯がされすぎていて、必要以上にお金を作る努力を過ぎている気がします。

い国だから、子供たちの為に教育費を貯蓄する必要もありません。

多分、カナダという国自体が、貧乏人に優しい国であり、高校までは教育費はいらぬし、健康保険も要りません。多分日本では貧乏を怖いものなのに、洗濯がされすぎていて、必要以上にお金を作る努力を過ぎている気がします。

多分?カナダの西海岸の「オーガニック」緑の党の牙城といわれるソルト・スプリング島という、人口二〇〇〇人の島に流れ着きました。

家では、出来るだけ人間が手を出さないで自然のままに動物も殆ど放し飼いで、餌も殆ど与えずに野性の物を食べてます。果物なども、農薬、肥料などあげないのみならず、剪定も殆どしません。勿論総生産量は少ないかもしれませんが、肉も卵も果物も十分食べられるのはあります。今年は、温暖化の為に外で柿なども実り、珍しい為か、自然食品の店が高額で売って

来年は七年に一度、毛虫が大発生する予定の年で、収穫は少ないですが、島の人は「果樹」としては、根を休める良い「チャーン」だと言います。我々は、収穫物を干したり、ワインを作る

作業が少なくなつて、大いに遊ぶことが出来る楽しさにさえずっています。

多分、カナダという国自体が、貧乏人に優しい国であり、高校までは教育費はいらぬし、健康保険も要りません。多分日本では貧乏を怖いものなのに、洗濯がされすぎていて、必要以上にお金を作る努力を過ぎている気がします。

い国だから、子供たちの為に教育費を貯蓄する必要もありません。



左から鈴木幸子、森井静子校長、寄贈作品の前で

《将来の目標を教えてください》

あせらず、おこらず、謙虚な気持ちで少しずつの努力を忘れず、絵ひとすじに描くことです。絵は多くの方々にご覧頂いてこそ完成と思えます。

《中津高校の同窓の方で、影響を受けたお世話になった方は?》

「Prof.」

一九七〇：岐阜大学教育学部美術工芸学科卒業(19回生)  
一九七五：新制作協会・神谷幸子氏師事(岐阜)  
一九八〇：岐阜県芸術文化特別奨励賞受賞(岐阜)  
二〇一一：第七五回新制作展・会員推薦(岐阜)  
東京・横浜・鎌倉・名古屋・中津川などで個展開催  
現在・新制作協会会員・多摩美術協会会員  
神奈川県川崎市芸術協会会員  
東京都在住

取材：阿部 武東(14回生)

## 北恵那鉄道

土本 倫代さん(30回生)

令和元年七月三日、東海テレビの「世界の何だコレ?ミステリー」という番組に懐かしい北恵那鉄道が映りました。電車マニアの関心を集めた。今なお残る、廃線跡をめぐるコーナーに北恵那鉄道が紹介されたのです。北恵那鉄道は大正時代に開通し、付知・中津間を五十四年間走り続け、一九七八年(昭和五三年)九月十八日に廃止となりました。私が高校三年生の時です。私は北恵那電車を利用して、美濃福岡駅から中津高校へ通学をしていました。



なつかしの北恵那電車 (写真提供: 古田勝己さん 定福33卒)

ではなぜ、そのコーナーに紹介されることになったのか。その経緯をお伝えしようと思います。今から四十年前、当時の放送部が文化祭のために廃線となる北恵那鉄道を、8ミリフィルムで撮影し、「北恵那鉄道廃線のドキュメンタリー」映画を作成しました。そして七年前、放送部長であった笠木博君が、損なわれた映像や失われた音声を現代技術で修復し、複製版を完成させYouTubeにアップされました。三十四年の間に変わらないうえに、今も北恵那鉄道の鉄橋がかかっています。苗木城、恵那山等々中津川市の景観は最高です。北恵那鉄道の廃線跡を通して、私たちの故郷、中津川市の魅力が全国に届けられると思います。

あの先輩！この後輩！ インタビュー

株式会社トップ 小田悟氏(33回生)



の固定観念にとらわれることなく、お客様に喜んでいただくこと、「満足」を越えた感動の「サービス」の提供を主眼に、幅広い分野で事業を展開しております。

①現在やっておられる会社・お仕事について教えてください。株式会社トップホールディングスは、オフィスのニーズに合わせて機器導入やシステムをコーディネートするトータルオフィスプランニングです。通信・OA機器、防犯セキュリティシステムの販売・施工・保守、さらにEコマース関連事業、リサイクル事業、トラベル事業を展開する「トップ」、完全受注生産の印章販売の「大日本印章」、飲食事業の「トリフォリオ」、ウエディング事業の「アールウェディング」と、従来

挨拶がしつかりできれば人としては八割方OKだという思いがあり、そこだけは厳しく指導していたため社員にはすぐに浸透していききました。私たちの使命はお客様の経費節約や効率化を積極的に提案し、その会社に元気になってもらうことなので、まさに当社の活動を象徴するスローガンだったわけですね。

「よし行つてこい」と即答していただきました。その時の先生の男気は今でも忘れません。また、私が二十歳の就職の時に、国家公務員になろうと先生に相談に行つたのですが、「公務員もいいけど他に何か得意なことはないのか？」と聞いてくださり、「営業なら自信があります」と答え、通信機器の営業会社に就職しました。あの時先生は「小田に国家試験を受けるはずない。小田に公務員は向いていない」と、思つていても口に出さずいてくださったあの優しさのおかげで、今の私があると思つています。

④これからの展望や挑戦したいことがあれば教えてください。これまでゴルフの男子プロトーナメントや格闘技、音楽フェスや花火大会への協賛や、卓球のリーグに女子チームとして参戦してきましたが、これからはスポーツやイベント事業を通して、地域貢献、社会貢献に努めて参ります。また全国展開につきますように。

⑤中津高生へのメッセージをお願いします。卒業して三五年が経ちますが、今でも在学当時の恩師も同級生も先輩も後輩も、公私にわたりお付き合い合っていたりしております。当時は「縁」をそれほど重要だと思つていなかったが、今まさに「縁」の大切さを実感しております。在校生の皆さんには、恩師・同級生・先輩・後輩、そして家族・仲間ももちろん、係わり合いのあるすべての人々との「縁」を大切に、勉強に、仕事に、人生に、これからも明るく元気よく取り組んでいただきたいと思います。皆さんの今後の活躍をお祈りしています。

②企業のトップとして大切にしていること、心がけていることを教えてください。『会社を元気にする会社』というスローガンを作つたのは、東日本大震災が発生した平成二三年です。震災の影響から社会全体に自粛ムードが漂つていた年で、そんなときこそ「お客様に元気をお届けしたい」と、商談やメンテナンスでお客様のもとへ伺う際は「ごいよりも元気に」おはようございます！と挨拶することを決めました。お客様を元気にするために、まず社員から元気を発信していこうというわけですね。

③高校時代の思い出について教えてください。三年生の時、別の高校に通つていた弟がある事情で中退か内観道場(お寺)へ行くかの選択をする事がありました。その時お寺へ行くことにしたのですが、家庭の事情により私が保護者として弟と一緒に週同行することになり、それを当時の担任の先生にお話ししたところ、いろいろと詳しい事情などは一切聞かずに

のテロとの戦いで始まったアフガン空爆で犠牲になつた無垢の家族などを書いたのが受賞した連載でした。自分で足を運び、慎重に確かめて真実を伝える。こうした作法とこだわりが先輩から後輩へ連綿と受け継がれ、権力と戦つてきました。テレビやネットにそうした伝説はありませぬ。新聞がなくなれば日本のジャーナリズムは死んでしまつてしまふ。ただ新聞業界は今、発行部数が下げ止まらない厳しい状況にあります。通勤電車の中で新聞を広げる人をほとんど見かけません。みなスマートフォンを見つめて、ニュースを読みだりゲームをしたり。全国紙は大きく部数を減らし、地方紙も少しずつ減つていきます。担当しているスポーツ紙は中日ドラゴンズの成績不振も手伝つて、かなり苦戦しています。

今の仕事は中日スポーツと東京中日スポーツの黒字をいかに保つか。新時代に適したデジタル戦略を探るなど、5GとAIによる次世代メディア戦略に乗り遅れないよう舵取りをしなければなりません。経営が安定しなければ、後輩たちが思う存分仕事できなくなるからです。令和元年、うれしいニュースがありました。浜松と三重で二度、私の部下になつた三十代の記者が「石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞」を受賞する大仕事をやってのけました。居酒屋で「特ダネ書いたら奢つてやる」と励ました私は大盤振る舞いする羽目になりました。教わり学び引き継ぐ。記者同士がぶつかり合つて、取材力や文章力を高めていく。そんな仲間が囲まれての新聞記者人生は、私にとって天職でした。この稿を読んだ高校生やOBの何人かがジャーナリズムを目指してくれれば、こんな幸せなことはありません。

創業当初に掲げた「都道府県のすべてに拠点を」を目標に(現在二七都道府県三四拠点を)今後も積極的に採用活動を「一緒に活躍してくれ社員(仲間)を増やし、拠点を増やしていきたいです。」

令和元年九月十八日、梶田鈴枝さん(第10回生)に母校で講演をしていただきました。梶田さんは長く教鞭を執られた地域の教育や地域活動にご尽力されました。今回、中津高校図書委員会主催の平和講演会で、ご自身の体験を中心に平和や命の尊厳について語っていただきました。梶田さんのお父さん、市川末一さんは中津川で生まれ育ち、地元の本郵便局に勤務されました。長女の梶田さんが三歳だった一九四四年に戦争に召集され、翌年六月、沖繩本島南部で戦死されました。しかし、終戦後二年間は消息が分からず、遺骨も遺品も何一つ返ってきませんでした。五七歳の時、偶然、仏壇の引き出しで見つけた父の手紙には「お土産をたくさん買って帰ります」としたためられており、その父の思いに号泣されたそうです。定年退職後、何度も沖繩を訪ねて亡き父の



生徒の感想 本日は貴重なお話を聞かせてくださりありがとうございました。沖繩戦についての詳しい話を聞いたことが今まであまりなかったもので、とてもよい経験になりました。今回の講演の中で、私が一番心に残つたのは女学生が軍の看護師として戦争の最前線に送られたという話です。自分たちとそれほど変わらない少女たちが負傷した兵士と関わり、麻酔もない外科手術に立ち会い、看護をしていた。辛い現場ばかりだったのだろうと思ひます。もし自分ができるかと言われれば、できそうにありません。けれど、国からの指令でなければならなかったという現実が辛いと思ひました。他にも集団自決の話、米軍の話など心にくるものが多く、また考えさせられました。私は十月に沖繩に研修に行きます。そこできっと、もっと深く学ぶと思うし、現場も見ます。私は戦争のつらさを「本当」に知つていくわけではないけれど、今も沖繩の方が苦しんでいる現実を決して人ごととは捉えず、考えていけるようにしたいです。それを踏まえて、しっかりと見ていこうと思ひます。もう二度と戦争を起ささないようにしたいです。取材：松本 詠史

中日新聞社 役員待遇スポーツ紙担当 土岐正紀氏(24回生)

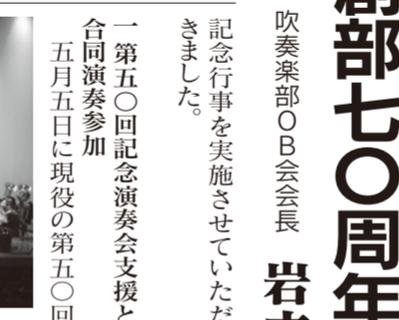


受けたが失敗し、小さな編集プロダクションに。五年間、そこで取材力と文章作法を磨いたおかげで、中日新聞社に中途入社できました。岐阜総局、名古屋社会部では事件取材に明け暮れ、愛知県警の不祥事もすっぱ抜いた。自衛隊初の海外派遣になつたカンボジアPKOを取材した後、ウイーン支局長としてバルカン半島の紛争地を飛び回つた。社会部デスク時代に取材班キヤップを務めた連載「テロと家族」が新聞協会賞を受賞したのが一番の誇りです。

為政者側の発表に裏がないか疑い、賛否両方の意見に耳を傾けた。現場には許される限り足を運んだ。コソボ紛争では米国防務省の発表ではなく空爆されたセルビア人側に着いて記事を書いた。九・一一後

吹奏楽部創部70周年を記念して 吹奏楽部OB会会長 岩本隆明氏(22回生) 記念行事を実施させていただきます。二日間わたる演奏会となりまして、安江先生、横幕先生、高橋先生、そして顧問の今井先生が勢揃い、盛大な中に記念すべき演奏会となりました。

吹奏楽部OB会会長 岩本隆明氏(22回生) 吹奏楽部OB会会長の活動に関して、ご支援ご協力を賜りましてありがとうございます。平成二二年の中津高校吹奏楽部第四〇回記念定期演奏会の折に再発足し活動を再開させていただきました。吹奏楽部OB会も早いもので今年で十年目を迎えます。新しい年号、令和元年となりまして今年度は、特に昭和四四年に吹奏楽部が発足し七〇周年の節目を迎えます。さらに、定期演奏会についても第五〇回目を迎へ、記念すべき年となりまして、吹奏楽部OB会ではこの輝かしい吹奏楽部の歴史を築いてこられた先輩方の偉業に感謝しつつも、吹奏楽並びに吹奏楽部のさらなる未来の発展のために、中津高校同窓会のお力もお借りし、次の



吹奏楽部創部70周年記念コンサート 合同演奏より

三 記念誌の発行 創部七〇年の足跡を残すべく、記念誌の編纂を開始してきます。昨年吹奏楽部OB諸氏に郵送にて連絡し、原稿を集め編集に入っています。ただ、まだまだ、原稿が不足しています。当初の発行予定を遅らせてでも記念すべき記念誌となるよう現在も編集の進行中です。吹奏楽部OBの皆様、貴重な高校時代の思い出、是非二報ください。今年中には発行にこぎつきたいと思ひます。

高三の文化祭でフォークソングを歌っていた私がジャーナリストを目指す決めたのは一浪して入った早稲田大学の環境が大きい。天下国家を論じる先輩や友がいて、下宿で本をむさぼり読んで居酒屋で議論する日々が心地よかつた。ノンポリでしたが、ロッキード事件が起るとデモに参加した。世の中にも申し分ない性分は記者になるしかない。オйлショック後の就職難で、新聞社と出版社の試験を

高三年の時に、別の高校に通つていた弟がある事情で中退か内観道場(お寺)へ行くかの選択をする事がありました。その時お寺へ行くことにしたのですが、家庭の事情により私が保護者として弟と一緒に週同行することになり、それを当時の担任の先生にお話ししたところ、いろいろと詳しい事情などは一切聞かずに

吹奏楽部創部70周年を記念して 吹奏楽部OB会会長 岩本隆明氏(22回生) 吹奏楽部OB会会長の活動に関して、ご支援ご協力を賜りましてありがとうございます。平成二二年の中津高校吹奏楽部第四〇回記念定期演奏会の折に再発足し活動を再開させていただきました。吹奏楽部OB会も早いもので今年で十年目を迎えます。新しい年号、令和元年となりまして今年度は、特に昭和四四年に吹奏楽部が発足し七〇周年の節目を迎えます。さらに、定期演奏会についても第五〇回目を迎へ、記念すべき年となりまして、吹奏楽部OB会ではこの輝かしい吹奏楽部の歴史を築いてこられた先輩方の偉業に感謝しつつも、吹奏楽並びに吹奏楽部のさらなる未来の発展のために、中津高校同窓会のお力もお借りし、次の

吹奏楽部創部70周年を記念して 吹奏楽部OB会会長 岩本隆明氏(22回生) 吹奏楽部OB会会長の活動に関して、ご支援ご協力を賜りましてありがとうございます。平成二二年の中津高校吹奏楽部第四〇回記念定期演奏会の折に再発足し活動を再開させていただきました。吹奏楽部OB会も早いもので今年で十年目を迎えます。新しい年号、令和元年となりまして今年度は、特に昭和四四年に吹奏楽部が発足し七〇周年の節目を迎えます。さらに、定期演奏会についても第五〇回目を迎へ、記念すべき年となりまして、吹奏楽部OB会ではこの輝かしい吹奏楽部の歴史を築いてこられた先輩方の偉業に感謝しつつも、吹奏楽並びに吹奏楽部のさらなる未来の発展のために、中津高校同窓会のお力もお借りし、次の

吹奏楽部創部70周年を記念して 吹奏楽部OB会会長 岩本隆明氏(22回生) 吹奏楽部OB会会長の活動に関して、ご支援ご協力を賜りましてありがとうございます。平成二二年の中津高校吹奏楽部第四〇回記念定期演奏会の折に再発足し活動を再開させていただきました。吹奏楽部OB会も早いもので今年で十年目を迎えます。新しい年号、令和元年となりまして今年度は、特に昭和四四年に吹奏楽部が発足し七〇周年の節目を迎えます。さらに、定期演奏会についても第五〇回目を迎へ、記念すべき年となりまして、吹奏楽部OB会ではこの輝かしい吹奏楽部の歴史を築いてこられた先輩方の偉業に感謝しつつも、吹奏楽並びに吹奏楽部のさらなる未来の発展のために、中津高校同窓会のお力もお借りし、次の



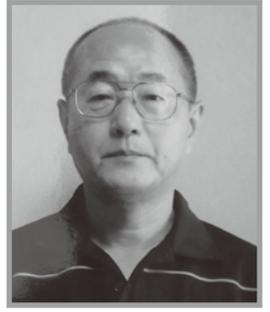
吹奏楽部創部70周年記念コンサート 合同演奏より

吹奏楽部創部70周年を記念して 吹奏楽部OB会会長 岩本隆明氏(22回生) 吹奏楽部OB会会長の活動に関して、ご支援ご協力を賜りましてありがとうございます。平成二二年の中津高校吹奏楽部第四〇回記念定期演奏会の折に再発足し活動を再開させていただきました。吹奏楽部OB会も早いもので今年で十年目を迎えます。新しい年号、令和元年となりまして今年度は、特に昭和四四年に吹奏楽部が発足し七〇周年の節目を迎えます。さらに、定期演奏会についても第五〇回目を迎へ、記念すべき年となりまして、吹奏楽部OB会ではこの輝かしい吹奏楽部の歴史を築いてこられた先輩方の偉業に感謝しつつも、吹奏楽並びに吹奏楽部のさらなる未来の発展のために、中津高校同窓会のお力もお借りし、次の



# 恩師 追悼

## 市川義視先生 追悼文



古田陽香 (定晋61回生)

教え子代表として、市川先生に謹んでお別れのご挨拶を申し上げます。

久しぶりに市川先生のお名前を聞いた時に、とてもお会いしたくなりました。でも、もう会えなくなりました。とても寂しい気持ちと、学校へ行ったらあの時のまま笑顔でお会いできるのではないかと信じられない気持ちで混乱しています。

市川先生の英語の授業は、とても優しく癒しの時間でした。私達がお喋りに夢中になっていた時、困らせるような質問をしたり、困らせた表情は、今でもすぐに思い出せます。そして、場を和ませようと冗談を言ったあとに周りの反応が冷たかった時の何とも言えない表情がとも印象に残っています。市川先生が定時制に來られて、最初の挨拶の時に「僕

## 井口容堂先生 「随所に主となれ」



杉山洋子 (20回生)

中津高校の卒業式の一週間程度前になると、三年B組の生徒同志で、サイン帳に互いの思い出を書き合いました。私は担任の先生にも一言書いていただきました。先生にも一言書いていただきたくて、井口容堂先生にお願いに行きました。先生は、快く引き受けてくださって、随所に主となれと書いてくださいました。

当時私はバスケット部のキャプテンを務めていましたので、卒業後いろいろな処で主となつてリーダーの立場で活躍しなさいという意味だろうと捉えていました。先生の教えに沿って生きようと結婚後はボランティア団体の女性防火クラブに所属して、防火防災の普及に努めました。また神坂地区・中津川市・岐阜県の会長を務め、先生からの言葉を胸に活動しました。ある時、禅の言葉を

が働く学校がなくなつてしまつたと定時制に來られる前の学校がなくなつていたこともあり、笑つていいのかわからなかつた記憶があります。

人数も少ないので本当になくなつてしまつても知れないと心の中で思っていました。今でもあの時の安心してください。これで市川先生の変なジメジメもなくなりましね。担任の先生になつて頂いたことはなかつたので、そんなにくさん話をしたことはありませんでした。市川先生の存在は、とても大きく、近くに

私が一番印象に残っているのは、文化祭で太鼓の練習をしている時のことです。先生も一緒に太鼓の練習をしていて、ふと先生の方を見てみると小さな動きで太鼓を叩きながら女の子みたくには素敵な先生でした。



「随所作主 立処皆真」読み方は、「ずいしよにしゆとなれば、りつしよみなしんなり」。意味は、物事に對して、主体的でありなさいということでした。

いはい〜と可愛らしく一生懸命な姿を見て、女子の間ではそんな市川先生を眺めることが流行していました。そこから少しずつ会話も増えて授業もフランクになり楽しかったです。また、市川先生の授業を受けたんです。私の定時制の思い出に市川先生は、欠かせない存在です。そして私の思い出の中で、市川先生はつと生きています。先生は私のことなど覚えていないかも知れませんが、私はつと覚えていて、楽しい学校生活をありがとうと

学校へ行つても、もう先生のお姿を拝見することはできないと思つと、言葉では言い表せない気持ちでいっぱいです。私達同級生だけでなく、先生に教わつた数えきれない教え子全員が、共通の思いでいるはず。これからのつと私達を見守つていてください。市川先生は、いつまでも私達の恩師です。

市川先生、親身なご指導とたくさん温かい思い出をありがとうございました。先生のご冥福を、先生のすべての教え子とともに心からお祈り申し上げます。

私の家に向かう途中に先生のお寺があり、ときどき車で通りかかった時に、先生がデイサービスからのお帰りだつたと思われませんが、職員の方と並んで玄関に行かれる後ろ姿を拝見する機会があり、先生がお元気でいらつしやることに、とても嬉しかったことを覚えていてます。

ある日、新聞のお悔やみ欄に先生のお名前が載つていた時は、ショックでした。でも先生は長寿を全うされて、お寺もちゃんと立派な跡継ぎがいらつしやつて、お幸せだつたと思います。井口容堂先生、本当にお世話になりました。そして私に、このような機会をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。井口容堂先生のご冥福を、お祈り申し上げます。

## 二村英式先生を偲んで



日比野昭子 (14回生)

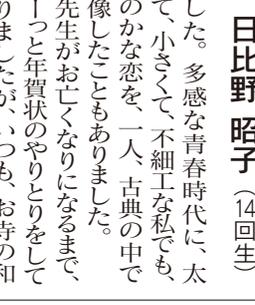
二村先生と初めてお会いしたのは、私が高校二年生の時、D組の担任となられた時です。二年生、三年生と、二年間大変お世話になりました。今、思い返すと、当時の生徒達はおとなしく、素直で純真な生徒であつたと思います。

二村先生は、物静かな先生で、紺色の上着というが、上つぱりというが、毎日同じような洋服を着ていらつしやいました。授業で習つた科目は古典でした。他の同窓生の方に、二村先生の印象を聞いたところ、とにかく物静かで、古典の授業を淡々と教えて頂いた、腰がいつも痛いとか、そんなことを言つていらつしたとの返事を頂きました。

私は理数系が苦手だつたので、古典の授業は大好きでした。二村先生が読まれる時の調子とか解説される時、何故かわびしさと、人のあわれとか、古典の授業のわびさびとか、当時の恋愛、恋の歌とか、とても興味津々

敦子先生との出会いは、私の教育実習の時でした。養護教諭を目指していた私は、短大の二年目に出身校である中津高校で三週間の実習をしました。高校を卒業してまだ少ししか経っていないこともあり、お世話になつた先生方がたくさんいて安心するやら恥ずかしいやらでとにかく緊張して実習に臨んでいた思

## 田口勝介先生 追悼文



井口貴博 (47回生)

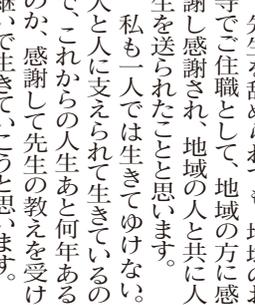
田口勝介先生、謹んでご逝去を悼み、生前の温かいご指導に對し、あらためてお礼申し上げます。

先生には、岐阜県立中津高等学校在学時代に社会科を教えていただきました。思えば、先生に声をかけられたのは、中津高校入学生一年生の社会科の時間です。机に座つている私の所へ寄つて「これ君は水道屋さんの息

子か？」と親しみを帯びて尋ねられました。きよんとしていた私に「お父さんには水道工事で世話になつたよ」と言われました。何も知らなかつた私はうれしくなつたのを今でも記憶しております。奥様が母親の同級生ということも後々知ることになり、運命を感じました。その最初の声かけから始まり、廊下などで出会うたびに声をかけていただき、実直で誠実な先生の授業に感銘を受けました。次第に社会科も先生も好感度アップしていきまし

敦子先生は、私が高校を卒業してから赴任されたので初めてお会いする先生でした。そんな敦子先生の元で教育実習が始まりました。背が高く、豪快に笑ひ、実習中は段取りの悪い私に「いいの、いいの」と言つてとても大らかに私を受け入れてくれました。確か、ご結婚されたばかりだつたようで、二人で保健室で仕事をしていると、二十歳そこそこの私に「旦那がさ」といつて旦那さんの話をしてくれました。ただその内容はのろけ話だつたのか愚痴だつたのか、何だつたのか覚えていませんが、

## 伊藤(松原)敦子先生を偲んで



成瀬 ゆかり (31回生)

敦子先生は、私が高校を卒業してから赴任されたので初めてお会いする先生でした。そんな敦子先生の元で教育実習が始まりました。背が高く、豪快に笑ひ、実習中は段取りの悪い私に「いいの、いいの」と言つてとても大らかに私を受け入れてくれました。確か、ご結婚されたばかりだつたようで、二人で保健室で仕事をしていると、二十歳そこそこの私に「旦那がさ」といつて旦那さんの話をしてくれました。ただその内容はのろけ話だつたのか愚痴だつたのか、何だつたのか覚えていませんが、

先生には、岐阜県立中津高等学校在学時代に社会科を教えていただきました。思えば、先生に声をかけられたのは、中津高校入学生一年生の社会科の時間です。机に座つている私の所へ寄つて「これ君は水道屋さんの息

子か？」と親しみを帯びて尋ねられました。きよんとしていた私に「お父さんには水道工事で世話になつたよ」と言われました。何も知らなかつた私はうれしくなつたのを今でも記憶しております。奥様が母親の同級生ということも後々知ることになり、運命を感じました。その最初の声かけから始まり、廊下などで出会うたびに声をかけていただき、実直で誠実な先生の授業に感銘を受けました。次第に社会科も先生も好感度アップしていきまし

敦子先生は、私が高校を卒業してから赴任されたので初めてお会いする先生でした。そんな敦子先生の元で教育実習が始まりました。背が高く、豪快に笑ひ、実習中は段取りの悪い私に「いいの、いいの」と言つてとても大らかに私を受け入れてくれました。確か、ご結婚されたばかりだつたようで、二人で保健室で仕事をしていると、二十歳そこそこの私に「旦那がさ」といつて旦那さんの話をしてくれました。ただその内容はのろけ話だつたのか愚痴だつたのか、何だつたのか覚えていませんが、

## ご冥福をお祈り致します

- 市川義視先生 六十四歳 平成三年一月五日(逝去) 定・平成二年から三十八年 英語教諭として在籍
- 増田義明先生 八十五歳 平成三年四月一日(逝去) 平成四年から六年 校長として在籍
- 井口容堂先生 九五歳 平成三年五月六日(逝去) 定・昭和五年から三三年 全・昭和五年から四四年 定・昭和四年から五七年 国語教諭として在籍
- 二村英式先生 八九歳 平成三年五月二日(逝去) 全・昭和五年から四四年 国語教諭として在籍
- 伊藤(松原)敦子先生 六五歳 平成三年十月二日(逝去) 全・昭和五年から六二年 養護教諭として在籍
- 田口勝介先生 八十歳 平成三年十一月二十日(逝去) 定(加子母分校)・昭和三九年から四二年 全・昭和六年から平成六年 社会教諭として在籍

それ以後敦子先生とお会いすることはありませんでした。養護教諭という仕事を四十年近く続けてこられたのは、敦子先生と出会い、魅力ある先生の姿により一層「保健の先生になりた」と強く感じさせてもらったと思つています。今の仕事を誇らしく思い、やりがいを感じながら続けることができそうです。ありがとうございます。

突然の悲しい知らせを受けて大変ショックでしたが、このように敦子先生に思いを馳せる機会を頂いたことに感謝します。敦子先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

敦子先生は、私が高校を卒業してから赴任されたので初めてお会いする先生でした。そんな敦子先生の元で教育実習が始まりました。背が高く、豪快に笑ひ、実習中は段取りの悪い私に「いいの、いいの」と言つてとても大らかに私を受け入れてくれました。確か、ご結婚されたばかりだつたようで、二人で保健室で仕事をしていると、二十歳そこそこの私に「旦那がさ」といつて旦那さんの話をしてくれました。ただその内容はのろけ話だつたのか愚痴だつたのか、何だつたのか覚えていませんが、



# 令和元年度 中津高校同窓会総会

令和元年五月十一日(土)勝宗において、令和元年度同窓会総会が開催されました。総会では活動報告、決算報告、予算承認、各支部活動報告などがなされました。また、旭陵留学生の平岡咲奈さんに留学体験、帰国後の活動について報告をしていただきました。

総会では「同窓会新聞『旭陵』の発行について」議論されました。号を重ねることに協力金が減少していることなどにより、財政的にかなり厳しく、この状態が今後続くようであれば、抜本的な財政対策が必要となつてきます。総会で確認された事項は、

一、同窓会新聞は同窓会活動の根幹となる重要な新聞であり、今後もできる限り現在の形を維持しながら発行していく。

二、中津高校の活動報告だけでなく、同窓生が幅広く興味を持って読める紙面を工夫していく。特にふるさと



旭陵留学生の平岡咲奈さんの報告



令和元年度同窓会総会

から遠く離れて暮らす同窓生が、母校や中津川の現在を知り、懐かしく思ってもらえる企画を考える。

三、若い世代からの協力金が極端に少ないことから、卒業時に二号協力金を支払つてもらおう。

四、さらに、財政状況が悪化する場合、紙面縮小や年次別発送を検討していく。以上の点が確認されました。議論の中で、HPで公開して郵送は行わないなど

## 令和元年度 中津高校定時制総会

令和元年度定時制同窓会総会が七月六日(土)、十一時より星ヶ見荘において開かれました。総会には森井静子校長、加藤久視副校長、石川同窓会係教諭様の初めのご出席をいただき総勢二十一名により、無事終えることができました。

古田精廣副会長の司会に始まり、事業予定においては鶴飼俊之副会長より十一月十六日(土)開催予定の「定時制同窓会交流会」は本年でもって最後になることを報告、参加要請を行いました。また、加藤副校長より「定時制部活動を応援する会」の経過報告があり、バドミントン部は五名が在籍し春季東濃地区大会において、女子ダブルス個人戦二位、女子シングルス個人戦三位など成績報告がありました。

また、「定時制部活動を応援する会」の資金で新調したユニフォームで試合に出場した事も合わせて報告がありました。



令和元年度定時制同窓会総会

## 第9回生DEF組同窓会 「傘寿記念」同窓会東京開催

五五歳、還暦、六五歳、古稀と律儀に五年置きに、花更紗で宿泊しながら同窓会を開いてきたが、宿泊は体力的にも厳しいという人もあり、喜寿を最後に同窓会に終止符を打つというところで、ホテル木曾路(今は大江戸温泉)で平成二八年六月五日、最後の同窓会を開き、二十九人が集まった。

翌日になり、これで終わりでは如何にも寂しいという意見が出て、来年からは中津川で、六月六日にランチ会を行うことを決定した。平成二九年と三十年には二人が集まり、宿泊のときと比べて約十人が減った。関東地区の人たちが、ランチだけにわざわざ中津川まで来られないという理由もあった。

そこで、来年は傘寿でもあり、東京で開催しようということになり、その場でホテル

## 令和元年度 第二十回 定時制本校・分校交流会

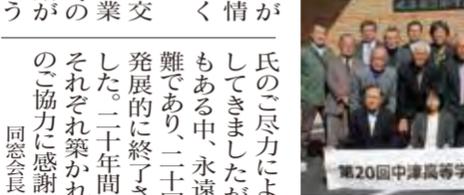
令和元年十一月十六日(土)定時制本校・分校交流会が「木曾路」において、森井静子校長、加藤久視副校長、他三教諭様の来賓をお迎えし総勢三六名により行われました。

第二十回の交流会は本校の当番で、中津高等学校の校長室・教室などの校舎内見学を行い、全員で正面玄関において記念写真を撮りました。特に、新校舎を初めて見られる方が多く、熱心に見学され、教室から黒板が消え白ボードとなり、ICT情報通信技術環境にまたびびっくりされておりました。

その後、「木曾路」において交流会を行い、五十年記念事業に取り組んだ裏話等々、当時の実行委員の皆様より思い出話語られ、母校と生徒たちを思う

熱い心が記念事業を成功させた原動力であったことを再認識いたしました。

五十周年記念事業がキッカケとなり始まった本校・分校の交流会が、先輩諸氏のご尽力により二十年間継続してきましたが、惜しまれる声もある中、永遠に行うことは困難であり、二十回という区切りで発展的に終了させていただき、それぞれ築かれた絆を胸に皆様のご協力を感謝いたします。



令和元年度定時制本校・分校交流会

## 第12回生(昭和三六年卒) 喜寿合同同窓会

二〇一八(平成三〇)年十一月七日(水)、農学科・工業科・普通科・家庭科の喜寿合同同窓会を開催した。合同同窓会は、二〇一一年(平成二三年)・二〇一五年(平成二七年)年に続いて三回目の開催となった。出席者は各科から合わせて、喜寿の同窓会にふさわしい七名が集まった。

目出度い日は、市岡君の「仕舞舞盛」で始まり、安田君作成の思い出のスライド、岩田君の「安来節」なども飛び出し、互いの六十年前を振り返る懐かしい談笑に時の過ぎるのを忘れた三時間であった。合同同窓会は、今回が最後にしようと思われ、散会した。

## 第12回生(昭和三六年卒) 傾聴クラブ」開催報告

「傾聴クラブ」は、高校生級の交流・交歓の密度を高めたいとの趣旨をもって平成二四年五月から始めた会です。

本会では、同級生を講師にしてのミニセミナーの形式を企画し、現在九回目までを終えたところです。その第九回は、四月二十七日に同級生の安江新一君が講師でした。彼は信州大学を卒業後同大学に残り、以来教授として活躍してきた人物です。

当日は、「ビッグバン宇宙論の歩み」との演題による壮大なロマン溢れる話で、聴講者はみな感銘を受けていました。その後、佐藤いみなさん宅で懇親会を持ちました。



中津高校喜寿合同同窓会



梅村薫(12回生)

## 第14回生同窓会(普通科D・E・F組)

後期高齢者と呼ばれる年齢となり、地元有志の発案により、五年ぶりの同窓会を計画しました。

令和元年十一月二十三日(祝)割烹勝宗にて、午後一時よりの開催で、会にはテレビ東京系などで活躍の(自給自足生活など)カナダ在住の安江直臣さんや、関東方面からの参加もあり、また五十歳差で二十五歳の孫の様な娘さんと結婚したと、大きな若妻の写真持参で参加の幸せ者が居たりで大変賑やかな会となりました。最後には校歌を四番まで斉唱し中締めとし、ほとんどの参加者が二次会会場の新町「中山道茶屋(ハナダ)」に移動し楽しく歓談しました。また次回の開催は喜寿(七七歳)となる

「傾聴クラブ」は、高校生級の交流・交歓の密度を高めたいとの趣旨をもって平成二四年五月から始めた会です。

本会では、同級生を講師にしてのミニセミナーの形式を企画し、現在九回目までを終えたところです。その第九回は、四月二十七日に同級生の安江新一君が講師でした。彼は信州大学を卒業後同大学に残り、以来教授として活躍してきた人物です。

当日は、「ビッグバン宇宙論の歩み」との演題による壮大なロマン溢れる話で、聴講者はみな感銘を受けていました。その後、佐藤いみなさん宅で懇親会を持ちました。



市岡 太平(12回生)



高山 松三(14回生)

同窓会では「学年同窓会」を応援しています。

同窓会では、学年同窓会を応援しています。補助金を出します。条件は同窓会新聞に開催報告記事を寄稿してください。

令和二年一月三日に恵那峡グランドホテルにて、中津高校三〇回生還暦同窓会を開催しました。出席者九十七名で大盛況の会となりました。

「我ら」中津高校30回生 還暦同窓会

松本 詠史 (30回生)

温めることができた。何十年ぶりであるという長い時間の壁があっても、一瞬にして、高校時代にタイムスリップし昔のように語り合ひ、杯を酌み交わすことができました。



元号が変わって初めての新年を迎えた令和二年一月三日、私たちは学年同窓会をパルティールA Iで行いました。二十歳の時に梅信亭で行った来、実に三十六年ぶりの開催でした。



第28回生 六十年 学年同窓会

鈴木 雅彦 (28回生)

約十年前、五十七歳という節目に、初めて二八回生の学年会を開催しました。それから十年は、あつという間の時間でしたが、パルティールA Iに今回も八クラス百名を越す仲間が集いました。



第33回生 同窓会に寄せて

田口 裕一郎・南角 啓子 (33回生)

だが、幹事同士協力し合つて全員の所在を確認することができました。当日の参加者は、総勢百三十名にも上り、幹事一同感激するばかりでした。

一同窓会新聞『旭陵』発行について 協力金のお願い

日頃は同窓会新聞『旭陵』のご愛読並びにご協力ありがとうございます。さて、同窓会新聞の発行経費について令和元年度同窓会総会で報告させていただきました。

- 郵便局・ゆうちょ銀行 口座番号：00870-7-105051 加入者名：岐阜県立中津高等学校同窓会新聞「旭陵」編集委員会
他金融機関からの振込 口座番号：〇八九(ゼロハチキュウ)店(089) 当座：0105051



- 編集委員 顧問 水野 賢一(25回生) 佐藤 和男(27回生) 編集委員長 吉田 真(27回生) H.P.委員長 曾我 望武(39回生) 委員 梅村 薫(12回生) 阿部 武東(14回生) 吉川 義康(18回生) 長尾 浩一(24回生) 朝日美智子(25回生) 山田 節子(27回生) 伊藤 守人(28回生) 松本 詠史(30回生)

中津高校を卒業し、はや三十年もの歳月が流れました。気持ちはまだ若いと信じており、大好きな野球をまだ続けております。

元号が令和になり、年の瀬も残すところ僅かとなった十二月二十七日、お城ブームや明智光秀を主人公としたNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放映にも後押しされて、苗木城を超えました。

ことなど全く日常になく、音楽はレコード盤やカセットテープからCDという音楽媒体へ変わり始めて、一曲でCDが百万枚も売れる時代に突入して行きました。